

国際法Ⅱ(主体)

科目ナンバリング ILA-202
選択 2単位

喜多 康夫

1. 授業の概要(ねらい)

新聞やテレビなどの報道機関の影響のせいか、各国政府の動向などの国際政治が着目される傾向が世間にはあるかと思えます。そのためか、国際法についてよく理解されていなかったり、逆に誤解されることも多いかと思えます。例えば、武力紛争が起こるたびに「国際法は死んだ」とか、「国際法は役に立たない」と言われますが、このような発言は、国際法が国際関係において現実に果たしている役割を正しく理解しているとはいえません。平時であろうと戦時であろうと、主権国家の関係を規律するのが国際法の役割であって、それを理解することが重要です。

本講義の目的は、2つあります。第1の目的は、上記で指摘した国際法が実際に果たしている役割を学生のみなさんに知ってもらうことです。本講義では、国家などの国際法の主体を説明します。第2の目的は、国際法を通して、学生のみなさんのリーガル・マインドの育成にあります。そのため、判例解説に重点をおきたいと思えます。

2. 授業の到達目標

- ①国際法の基本知識をさらに発展させ、国際法秩序の全体像を理解できる。
- ②リーガルマインドを成長させることができる。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価については授業貢献(50%)とLMS試験(50%)に基づいて行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

条約集は必須ですが、まだ2021年度版は出版されていないので、授業時に指示します。

参考文献

杉原高嶺 『基本国際法(第3版)』 有斐閣

薬師寺公夫・坂元茂樹・浅田正彦・酒井啓巨(編集代表) 『判例国際法(第3版)』 東信堂

5. 準備学修の内容

LMSでPowerPointのスライドのpdfファイルを授業資料として配布しますので、そのpdfファイルに目を通しておいください。また復習テストも実施する予定です。

6. その他履修上の注意事項

【関連科目】国際法の授業は全体として「国際法Ⅰ(歴史・法源)」、「国際法Ⅱ(主体)」、「国際法Ⅲ(空間)」及び「国際法Ⅳ(秩序維持)」の4コマから構成されており、国際法の全体像を理解するためには、このすべてを履修することが望ましいと考えます。また、さらに国際法の専門分野として、「国際組織法Ⅰ/Ⅱ」「国際人権法」「国際安全保障法」「国際経済法Ⅰ/Ⅱ」「国際裁判所論Ⅰ/Ⅱ」「国際刑事法Ⅰ/Ⅱ」などがあり、より深く勉強できるようになっています。

【学生へのメッセージ】第1回目のオリエンテーションで、授業のスケジュールと単位の取得方法などを説明します。質問のある学生は、yaskita@main.teikyo-u.ac.jpにまでメールを送ってください。なお、その場合は表題に「・・・の件」とした上で、氏名及び学籍番号と用件の内容をメール本文に記して送ってください。匿名メールはスパムとして取り扱います。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション |
| 【第2回】 | 01. 国際法主体の種類 |
| 【第3回】 | 02. 国家の成立と国家承認 |
| 【第4回】 | 03. 国際法上の政府の問題 |
| 【第5回】 | 04. 主権と管轄権 |
| 【第6回】 | 05. 国家免除 |
| 【第7回】 | 06. 国際関係における国家機関 |
| 【第8回】 | 07. 国家の消滅 |
| 【第9回】 | 08. 国家承継 |
| 【第10回】 | 09. 国際機構 |
| 【第11回】 | 10. 国籍と外国人 |
| 【第12回】 | 11. 国際的人権保障制度 |
| 【第13回】 | 12. 国際法上の人権の種類 |
| 【第14回】 | 13. 国際犯罪の規制 |
| 【第15回】 | オンライン授業としてまとめと復習テストを実施します。 |